

熊谷雄一市長(中央)に受賞を報告した(左から)山下祐史さん、清水涼平さん、渡邊咲良さん、船場亜希さん



八学大にマイナビ賞

男女ラグビー部 女子スピードスケート部

大学スポーツ協会「ユニバス・アワーズ」

八戸

大学スポーツ協会(東京)の「ユニバス・アワーズ」2023-24の各賞を受賞した、八戸学院大の男女ラグビー部と女子スピードスケート部の関係者が7日、八戸市庁を訪れ、熊谷雄一市長に喜びを報告した。共に取り組んだ「デュアルキャリア支援」などが高く評価された。(桑田友人)

山下HCはコーチ賞

男女ラグビー部ヘッドコーチの山下祐史さん(39)が、競技力だけでなく地域貢献に波及できた」と強調。ラグビー部と女子スピードスケート部がマイナビ賞「人材育成に関する優秀取組賞」を受賞した。

同大では、3年前にラグビー部で始めたキャリア支援の講義を女子スピードスケート部に展開。課題発見力や主体性といったテーマごとに行動計画を立て、2カ月置きに振り返りを行った。7日は市庁に、山下さんとラグビー部主将の清水涼平さん(21)、女子スピードスケート部監督の船場亜希さん(48)と主将の渡邊咲良さん(21)が来訪。山下さんは「選手

が練習の質への考えを深め、競技力だけでなく地域貢献に波及できた」と強調。船場さんは「指導者と選手個人で行っていた話し合いが全体に広がり、チームとして成長できている」と手応えを口にした。受講した清水さんは「主体性を具体的に学ぶことができた」、渡邊さんは「闘争心がない方だったが、先輩の話を聞きレースに生かされた」とそれぞれ話した。熊谷市長は同大の取り組みについて「キャリアとスポーツがつながり、良い循環が生まれている」と感心した様子だった。